

西三河支部

令和4年度 幸田町総合防災訓練参加

- ・日 時：令和4年9月3日（土）午前9時
- ・場 所：幸田町消防本部
愛知県額田郡幸田町大字菱池字前田
41番地1

西三河支部（石山勝範支部長）は、幸田町の「幸田町総合防災訓練」に参加しました。

主催の幸田町消防本部は、昭和22年に警防団から消防団に改革。昭和29年に豊坂村との合併により幸田町消防団に改組され9分団制233名となり、昭和41年、51年に消防団員の定数が改変され、昭和53年に定められた147名の定数で現在（平成23年度）に至っています。

（幸田町消防団の紹介HPより引用）

幸田町総合防災訓練は、平成27年（2015）9月5日の開催時の取材対応以来、本誌への掲載はありませんでしたが、本年新型コロナウイルス感染拡大への対応が社会的に徐々に緩和され、支部会員の方々が防災訓練に参加されました。

【参加者】5名

- ・金井 邦剛 副支部長（（株）企業処理サービス）
- ・渥美 和男 副支部長（（有）渥美商会）
- ・近藤 大樹 役員（中部保全（株））

- ・太田 忍 氏（中部保全（株））
- ・天野 晃明 役員（岡崎技研（株））

【提供車両】

- ・2トントラック - 1台：中部保全（株）

防災訓練は、9月3日午前9時に南海トラフ地震（震度6強）が発生したと発表され、幸田町役場及び幸田町消防本部を主体とする幸田町災害対策本部が設置されました。

防災訓練は地域の各団体も多く参加し、地震により家屋等が倒壊した想定で、消防署員がチェーンソーで木を切断し被災者を救出する訓練、がれきに生き埋めになった人がいないか救助犬により捜索する訓練、また、西三河支部は災害廃棄物を撤去し、集められた災害廃棄物を中部保全（株）の2トン車に積載、その後、災害廃棄物の仮置き場へ輸送する訓練等が行われました。

他にも近藤役員が消火器による消火訓練を行い、大きな炎が立ち登る場所に向けて、消火器を使って鎮火させるなど、発災時に起こりやすい火災について注意を促しました。

西三河支部は、現在愛知県内の各市町で災害廃棄物処理の仮置場の設置・設営に向けて早急な取組



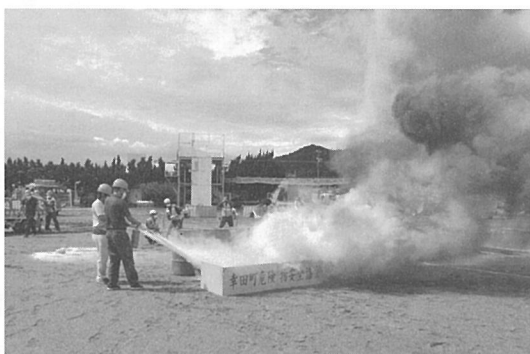
訓練に参加された方々
左から 太田氏、近藤役員、渥美副支部長、天野役員



防災訓練の場内には地震を体験できる「なまず号」があり、天野委員（左側）と渥美副支部長が震度7の揺れを体験



擬似災害廃棄物を油圧ショベルで挟み、中部保全（株）の車両に積み込む。



中部保全（株）の近藤委員が、炎から高く立ち登る黒煙の前にして消火活動を行う。



を進めている傾向を踏まえ、この機会に災害廃棄物の積み込み作業の手順について、運搬車両への擬似災害廃棄物を手際良く積み込み、なおかつ安全な作業に努めたシミュレーションを行いました。

発災時における災害廃棄物処理風景を本番さながらに再現して、多くの見学者の方に廃棄物処理業者の頼もしさを見ていただいた防災訓練となりました。



防災訓練の風景